

令和7年度第2回庄原市「学びの変革」推進協議会

令和7年10月15日（水） 庄原市立庄原中学校

「本市児童生徒の『主体的な学び』を促進する教育活動を推進するとともに、学校全体での組織的なカリキュラム・マネジメントの実現に取り組むことにより、児童生徒の資質・能力の向上を図ることを目的に、研修会を行いました。

【研究授業】 教科等:第2学年 数学科 「図形の性質の調べ方」

授業者:庄原市立庄原中学校 教諭 御影 悠斗

本時のめあて

角の大きさの求め方を、根拠を明確にして説明することができる。

【研究協議より】

- 見方・考え方を働かせる学習課題となっており、今後学習する証明の単元にもつながっていてよかったです。
- 全体でテンポよく既習事項を確認する、生徒にポイントをまとめたシートを配付する、意図的に指定したペアやグループで何度も説明させる、振り返りの視点を示すなど、生徒全員がめあてを達成するための様々な手立てがあり、大変参考になった。
- スプレッドシートで生徒の振り返りをすることで、他者参照ができ、新たな気づきにつながったり、学習内容をいつでも見返したりすることができていた。



【講話・交流】

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた一人1台端末の活用について～

庄原市教育委員会 教育指導課 指導主事 福原 理恵

- 各校の授業における一人1台端末の活用状況について、事前課題をもとに交流を行った。
- 児童生徒のタイピングや操作のスキルには個人差がある。全国学力・学習状況調査のCBT化等も踏まえ、MEXCBTに搭載されているCBT問題を授業や家庭学習で積極的に活用するなど、教師も児童生徒もCBT問題に慣れておくことも必要である。

【講話】

「学びの変革」の“深化”～「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けて～

広島県教育委員会 義務教育指導課 指導主事 横岡 洋子
広島県北部教育事務所 教育指導課 指導主事 安田 美紀



- 本時では、生徒の実態に即した導入の工夫や教師のファシリテートにより、生徒は主体的に学びを深めることができていた。
- 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実は、「主体的・対話的で深い学びの実現」を通じて、全ての子供にこれから社会で求められる資質・能力を育成することを目指すものである。
- 教師の指導性を發揮し、個別と協働のそれぞれの良さを生かしながら、一体的に充実を図ることが重要である。その際、クラウド環境を生かした他者参照を行うなど、一人1台端末の活用も有効である。

【参加者の感想等】

- 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図る上で、児童生徒に目指す資質・能力が付けられるようにするという目的を忘れず、授業改善をしていきたい。
- タブレットの活用状況について他校の取組を聞く中で共通することや参考になる活用方法があった。自校で共有したい。
- 児童生徒の実態を把握し、その実態に即した単元構成や授業づくりをしていくことや、児童生徒にどのような資質・能力を身に付けさせたいかを明確にして単元構成や授業づくりを行っていくことの大切さを改めて感じた。個の学びから協働的な学びを経て個の学びに戻る流れの中で、一人一人にしっかりと資質・能力を身に付けさせる授業づくりを行っていきたい。